



青年団員が門出を祝ってもちつきをした

華やかに 成人式

497人が

大人の仲間入り

一月十五日、大人への門出を祝って成人式が市内の結婚式場で行われ、約三百六十人の新成人が出席しました。今年成人式を迎えたのは、男二百八十四人、女二百十三人の四百九十七人です。

式では、まず浜田助役が「優秀な若人として世界に伸びていくってください」と市長の式辞を代読。岡崎市議会議長や市連合青年団の馬場浩司団長らが「友情と信頼の輪を深めながら意義深い人生を」「積極的に人生にチャレンジしていくってください」と祝辞を贈りました。

これに対して、新成人を代表して野村憲治さん（浜改田）と峰知世さん（岡豊町蒲原）が「第二の人生のスタート地点に立ち、あふれる好奇心と常識、この新鮮な気持ちを持ち続け、人生に仕事に燃えていきたいと考えています」と二十歳の決意を述べました。

次に、高知県山岳連盟の山崎清憲会長が「人生の節目を大切にしよう」と題して講演。若い時から現在までの節目を通して人生観を語りました。最後に、青年団員が朝からついた紅白の祝もちを新成人に配りました。

また、会場前では二十歳の献血を呼びかけ、四十二人が協力しました。

教育委員会から

成人式に出席できなかった方で、記念品（アルバム）を希望する方は、二月二十八日までに教育委員会社会教育課（☎2111内線314）まで申し出てください。



出席者全員に紅白の祝もちが配られた



360人が出席して華やかに繰り広げられた成人式典